

220億円の使いみち真剣に審議

予算審査特別委員会(委員長 武田 俊和)が3月16日から19日までの4日間開催され、付託された21年度各会計当初予算を審査しました。審査の結果、10会計すべての予算を可決すべきものと決定しました。

〈21年度各会計予算〉

千円以下切り捨て

会計名	予算額	
一般会計	134億3,000万円	
国民健康保険	38億8,411万円	
老人保健	135万円	
後期高齢者医療	2億2,406万円	
介護保険	21億4,738万円	
介護保険介護サービス事業	1,630万円	
豊石町・滝沢村介護認定審査会共同設置	1,491万円	
下水道事業	9億6,355万円	
農業集落排水事業	8,829万円	
水道事業会計	収益的収入	8億6,768万円
	収益的支出	7億6,065万円
資本的	収入	1,763万円
	支出	5億554万円

〈一般会計歳出〉

(単位：千円)

区分	予算額
議会費	176,264
総務費	1,459,606
民生費	4,001,490
衛生費	1,626,873
労働費	34,807
農林水産費	312,160
商工費	266,095
土木費	1,670,121
消防費	529,741
教育費	1,496,543
災害復旧費	15,998
公債費	1,836,301
諸支出金	1
予備費	4,000
歳出合計	13,430,000

〈21年度新規事業〉

(単位：千円)

事業名称	予算額
住民税年金特別徴収システム改修事業	21,777
航空写真データ更新事業	9,009
環境リサイクル調査事業	2,268
勤労青少年ホーム設備整備改善事業	494
新品種導入研究検討補助事業	386
有害鳥獣防護柵設置補助事業	600
地域商業等活性化対策補助事業	9,800
滝沢村IPUイノベーションセンター管理運営事業	9,572
インターネット活用型地域コミュニティ形成推進補助事業	452
観光魅力創出事業	392
賢治のみち整備事業	608
チャグチャグ馬コ資源活用事業	1,764
滝沢村観光ピーアールビデオ撮影事業	4,312
滝沢村観光遊歩道整備事業	5,880
たきざわ自然情報センター観光案内・調査事業	693
交通安全施設(歩道)整備事業(土沢1号線外3路線)	7,030
木造住宅耐震改修支援補助事業	1,800
都市計画基本図作成事業	22,096
スポーツ振興活動拠点改修事業	8,100
滝沢村あったかハートのサポーター配置事業	23,681
滝沢小学校便所改修事業	11,335
滝沢東小学校プール改修事業	7,598
滝沢第二小学校外壁等改修事業	9,576
小学校暖房設備改修事業	19,941
小学校デジタルテレビ整備事業	5,411
姥屋敷小中学校校舎耐力度調査事業	3,976
滝沢南中学校便所改修事業	28,809
公民館便所改修事業	13,866
埋蔵文化財センター収蔵文化財整備事業	5,642

3月定例会

21年度の当初予算総額 220億円などを可決

滝沢村IPUイノベーションセンター

3月定例会は、3月6日から24日まで開催され、初日には21年度村長施政方針演説が行われました。

定例会では、21年度一般会計、特別会計の予算審議をはじめ、補正予算や条例の制定など35議案が提案、固定資産評価審査委員会委員、教育委員会委員、副村長の選任同意3件、議員報酬・費用弁償等に関する条例など議員発議2件は全て決まりました。

一般質問は、3会派代表と議員12人の計15人が登壇し各分野に活発な議論を展開しました。

村長施政方針要旨

昨年度は、岩手・宮城内陸地震、岩手北部地震が、県南、県北地域に多大な被害をもたらし、本地域の被害は微少ではありましたが、県内被災地の状況を見ますと、本村においても災害に備えた安心できるまちづくりを進めていかなければならないと痛切に感じた次第であります。

平成21年度は総合計画前期基本計画の最終年度であり、さらに後期基本計画を策定し、滝沢村の将来を見据えた向こう5年間の政策について道筋を立て、私が、就任当初に皆さんにお約束致しました3つの基本方針、また2つの重点政策と8つの基本政策を着実に推進し、「真の豊かさを実感できる滝沢」の実現に向けて力を注いで参ります。

人事

- 滝沢村固定資産評価審査委員会委員
佐々木 功三郎氏(68歳)再任 同意
- 滝沢村教育委員会委員
盛川 通正氏(63歳)再任 同意
- 滝沢村副村長
松川 章氏(51歳)新任 同意

条例

(新規制定)

- 滝沢村介護従事者処遇改善臨時特例基金条例
- 滝沢村未使用地及びその周辺の環境保全に関する条例(教育民生常任委員会付託)

選挙

- 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員当選者
議員 川原 清